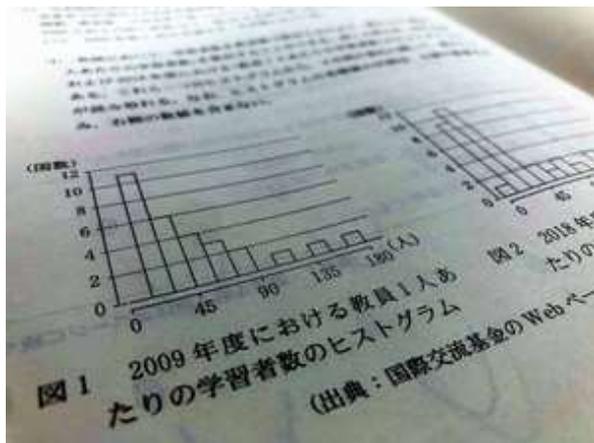


# 共通テスト数学 解けない…！に慌てないための、二つの心構え

有料記事

聞き手・山下知子 2023年1月12日 17時00分



2022年1月に行われた大学入学共通テストの数学の問題 



14、15日は大学入学共通テスト。昨年は数学が難化し、多くの受験生から悲鳴があがりました。受験生は直前にどんな準備をし、どういった心構えで臨めばいいのでしょうか。また、共テから国公立大2次試験までは、どう過ごすのが良いのでしょうか。数学教育研究所(東京)の清史弘(せいふみひろ)・代表に話を聞きました。

共通テスト英語「分かるのに解けない」の攻略法 講師が語る直前対策 [➔](#)

——直前期は何をすべきでしょうか。

今から新しいことを身につけるのではなく、自分の力を出し切ることを考えましょう。普段できている問題が解けなくなることがあるのが試験。ここを乗り越え、普段できていることができれば、「ちゃんとできた」ことになります。

基礎基本を徹底的に確認してください。なぜなら、緊張すると、普段はできていても思いもかけないところでミスをすることもあるからです。例えば、2次方程式の解の公式。分母に「 $2a$ 」がつきますが、「 $2$ 」や「 $a$ 」を忘れたまま解いて間違える例が結構あります。毎年、共テの直前にツイッターで「忘れるなよ」とつぶやきます。「救われました」なんてコメントが毎年きますよ。それから、三角形の面積を計算する時に、 $\frac{1}{2}$ をかけ忘れた、といった話もよく聞きます。

共テの数学は、答えが大きく違うと解答の枠にはまらないので、間違いに気付くことができます。ただ、枠にスポンとはまることもあるので、ミスをしていないか、もう一度気を引き締めて確認してほしいと思います。

——昨年の共テでは、前身の大学入試センター試験も含め、数学I・Aで平均点が過去最低でした。

昨年の反動で易しくなると期待している受験生もいるかもしれませんが、作問のスケジュールからいって過度に易しくなることはないでしょう。期待せず、同レベルで出題される、と考えて臨んで下さい。

——心構えはどうあるべきでしょうか。

ポイントは二つです。

一つ目は、「傾向が変化することもある」「準備してきたことと違う問題が出ることもある」と思って臨むことです。

予備校のテキストは、基本的にこれまでの出題を見て作っています。一方、共テの作問者はいろいろと傾向を変えてきます。ですから、これまで練習してきたことと違う事態が起こることがあります。

例えば、昨年の数Ⅰ・Aの大問1の問2。小数第4位を切り捨てるのであれば0.071、小数第4位を四捨五入するのであれば、0.072が答えでした。

切り捨てか四捨五入か。2年前の共テでは問題文中に「四捨五入」とありましたが、昨年は問題文中にはなく、問題冊子の最後の注意事項に書いてありました。気付かないままパニックになってしまった受験生もいたようです。「変化がある」と「予定」しておくことです。

もう一つは、失敗した時のリカバリー(回復)を想定しておくことです。

僕は作曲もしていて、ピアノのコンクールもよく見るのですが、慣れていない人は、1回ミスしてしまうと、「どうしよう」と思っている間に再びミスを重ねています。

学力試験でも、こうした負の連鎖は気をつけたいところです。基礎的な問題が出る大問1で「解けない！」となっても、慌てない。「そういうこともある」ぐらいに思えるように、イメージしておくといいでしょう。

そして、難しいと感じる問題は、他の受験生も難しいと感じているものです。「難しい、もう無理」となって気を落とさない。「みんなも難しいはず」と思い込みましょう。

共テは最低限、後につながればいいんです。つながっていれば、2次試験で挽回(ばんかい)できますから。

**まず時間配分を考える**

——昨年は「時間が足りない」との声もありました。大学入試センターの外部評価分科会は昨年6月、「計算量の多い設問も散見され、解答時間に余裕がなくなった受験者が多いことが推察される」としました。

大雑把でいいので、あらかじめ時間配分を考えておきましょう。

数Ⅰ・Aであれば、数A部分(2問選択)を解くのにどのくらい時間を残しておけばいいのかをまず考えて下さい。20分だときついので、25分ぐらいですかね。

分からない問題に固執しないことも大事です。共テに限らず、悔いの残る試験というのは、「ページをめくったら分かる問題があった」というケースです。解ける問題を確実にものにしましょう。

数学の公式は導いて解ければいいという人がいますが、共テでは時間ももたないないので、この試験に関しては、数学Ⅱ・Bを使う受験生は、2倍角の公式、三角関数合成の公式は覚えておいてください。

——ほかに気をつけることはありますか。

普通の助言ですが、マークミスですね。まさか、と思いますが、毎年いるんですよ。僕の肌感覚では、千人に1人ぐらいいます。問題をとばして解いた場合は念入りに確認して下さい。

マークミスをする、とても悲しい結果になります。本人はできているつもりでも、本当はできていない。出願した国公立大から受験票が来なくて、受験終了のゴングが鳴ってしまいます。

## 国公立2次試験までにやること

——共テから国公立大2次試験までの過ごし方は？

2次試験まで1カ月半近くあります。夏休み1回分と同じ時間です。できることはたくさんあります。

合格判定でAをもらっている受験生はこの時期、過去問対策含めてやり尽くしてしまっていて、復習ばかりすることになりがちでしょう。実は、これが落とし穴になるのです。

数学の問題を解く上では、問題のみで「〇〇を問うている問題だ」と見極めること、いわゆる初動思考が要です。復習ばかりだと、この勘が鈍ります。A判定の受験生が不合格になるパターンは、この見極め力が落ちることに起因する場合があります。まだ見たことのない、新しい問題を探して解いてみてください。

逆にD判定の受験生の場合は、とにかく書いて書いて、答案を作る練習をしてください。誰かにみて

もらうのが良いでしょう。

「セット」で取り組むことも大事です。例えば、東大理系の数学は全部で6題あります。1題1題、答え合わせをして進めていくことも必要ですが、試験日が近づいてきたら、全6題まとめて、時間をはかって取り組んでください。6題の中で、どのようにバランスをとって解くかが大切です。

## 高校2年生へ

——高校2年生のみなさんへのアドバイスをお願いいたします。

共テのためだけに求められる力があります。文章を読んで、問題設定を理解して……。計算の速さや要領の良さなど、数学の力とは違う力を求められ、早押しクイズのような側面もあります。こうした力をつけるには訓練が必要です。

ただ、このようなことは、僕は高校3年の夏からで十分だと考えます。共テ向けの勉強に多くの時間を費やすのはもったいない。まずは数学の基礎の力をしっかりつけることに注力してください。(聞き手・山下知子)



**大学入学共通テストのニュースはこちら →**

最新ニュース、時間割、受験生応援企画などをお届け。試験当日は問題と解答を速報します。[記事一覧へ]

朝日新聞デジタルに掲載の記事・写真の無断転載を禁じます。すべての内容は日本の著作権法並びに国際条約により保護されています。

Copyright © The Asahi Shimbun Company. All rights reserved. No reproduction or republication without written permission.